

成績評価分布の目標について《学士課程》

2019.11.13現在

学群・学類等		成績評価分布の目標
人文・文化学群	人文学類	A+・A おおむね 30～40% B おおむね 40% C おおむね 20～30%
	比較文化学類	
	日本語・日本文学類	
社会・国際学群	社会学類	A+とAの割合をおおむね30%以下とする。 A+の割合はAの割合以下、A+とAの合計の割合はBの割合以下とし、Cの割合はBの割合以下とする。
	国際総合学類	A+とAの合計割合をおおむね40%以下、A+の割合はAの割合以下とする。
人間学群	教育学類	A+とAの割合を50%未満とする。 ただし、教育効果が上がった場合にはこの限りではない。
	心理学類	A+とAの割合をおおむね50%未満とする
	障害科学類	A+とAの割合は50%未満とする。ただし、教育効果が上がった場合にはこの限りではない。
生命環境学群	生物学類	A+とAの取得者数の合計、Cの取得者数は、いずれもBの取得者数を越えない。
	生物資源学類	A+とAの割合をおおむね38%以下とする
	地球学類	A+とAの割合をおおむね40%以下とする
理工学群	数学類	A+とAの合計割合をおおむね45パーセント以下とする。
	物理学類	おおむね以下の通りとする。 A+ : 5% - 15% A : 10% - 30%
	化学類	A+とAの割合をおおむね45%以下とする。
	応用理工学類	A+とAの合計割合をおおむね45%以下とする。
	工学システム学類	A+とAをおおむね45%以下とする。
	社会工学類	A+とAの合計割合を概ね40%以下、A+の割合はAの割合以下とする。
情報学群	情報科学類	A+とAを併せた割合を概ね40%以下とする。
	情報メディア創成学類	A+とAを併せた割合をおおむね40%以下とする
	知識情報・図書館学類	A+とAを併せた割合をおおむね40%以下とする。
医学群	医学類	A+、Aを概ね30%程度とする。
	看護学類	A+の割合は、Aの割合を超えないこと。 A+とAの合計の割合は、BおよびCの合計の割合以下とし、Cの割合はBの割合以下とする。
	医療科学類	A+の割合はAの割合以下、A+とAの合計の割合はBとCの合計の割合以下とし、Cの割合はBの割合以下とする。
体育専門学群	体育専門学群	A+とAの割合をおおむね40%程度とする
芸術専門学群	芸術専門学群	A+とAの割合をおおむね40%程度とする
共通科目等	総合科目	総合科目の特性を鑑み、当面の間、「A+の割合はAの割合以下、A+とAの合計の割合はBの割合以下とし、Cの割合はBの割合以下とする。」
	体育	A+ 10% A 40% B 40% C 10%
	外国語	A+とA 30～40%程度 B 40%程度 C 20～30%程度
	情報処理	A+の割合はAの割合以下、A+とAの合計の割合はBの割合以下とし、Cの割合はBの割合以下とする。
	国語	Bの割合はA+、A及びCの割合を下回らない
	芸術	A+とAの割合をおおむね40%程度とする
	日本語・日本事情	A+の割合はAの割合以下、A+とAの合計の割合はBの割合以下とし、Cの割合はBの割合以下とするが、学生の参加者数により制度導入を決める。
	自由科目(特設)	総合科目に準じる
教職	A+とAの比率が、おおむね30%を目安とする。	